

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和8年度の全国学力・学習状況調査の結果は下のグラフのとおりです。昭島市の小・中学校は、全国や東京都よりも平均正答率が下回っている教科もあり、国語科の「話すこと・聞くこと」「読むこと」や、算数・数学科の「図形」「変化と関係」などにおいて課題が見られました。国語科では、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力、算数・数学科では、二つの数量の関係に着目し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できる力、証明する事柄の仮定となる辺や角の関係を見出す力、英語では、社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉える力を高める必要があります。各学校では、今回の調査結果を分析し、具体的な授業改善に向けた取組をより一層進めていきます。

調査の概要

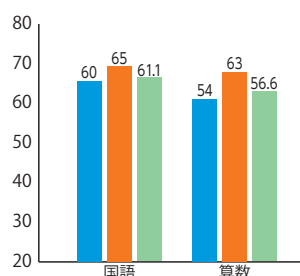
調査日：令和8年4月

対象：全国の小学校第6学年
全児童及び中学校
第3学年全生徒

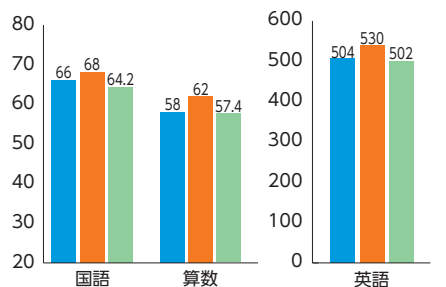
内容：●教科に関する調査
小学校…国語、算数
中学校…国語、数学、英語
●質問紙調査

教科に関する調査の結果

小学校6年生の平均正答率



中学校3年生の平均正答率

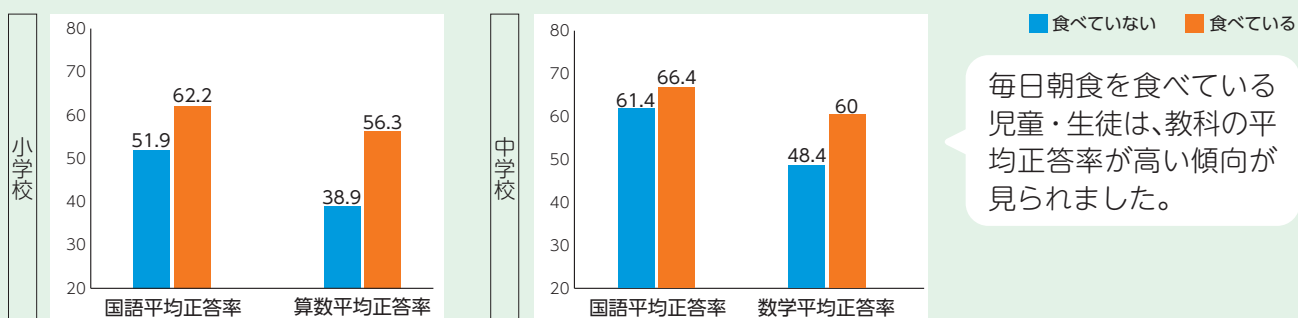


※中学校英語は一人1台のタブレット端末で回答しています。IRTスコア（各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表した数値）により平均正答率を比較しています。

児童・生徒質問紙調査では、基本的な生活習慣などの家庭での様子を質問しています。この質問に対する回答は、下のクロス集計の結果のとおり、教科に関する調査における平均正答率と相関関係があることが分かります。学力向上を図るためにも、子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けられるよう、各家庭のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

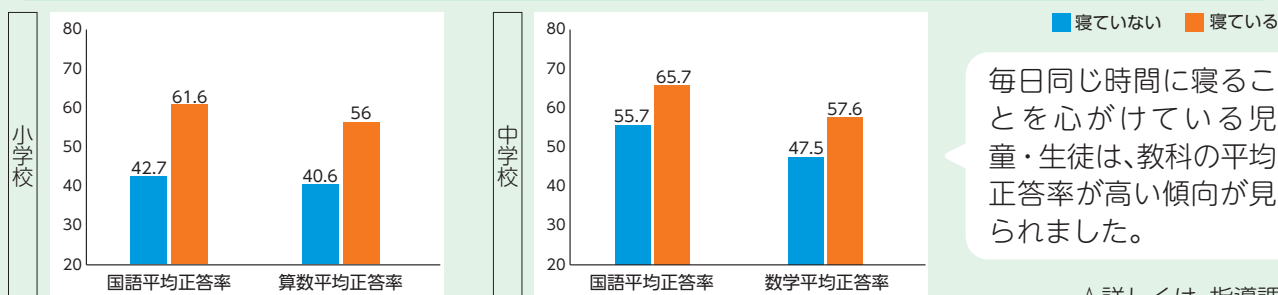
児童・生徒質問調査と教科に関する調査のクロス集計の結果（昭島市）

「朝食を毎日食べていますか」の回答における教科の平均正答率



毎日朝食を食べている児童・生徒は、教科の平均正答率が高い傾向が見られました。

「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」の回答における教科の平均正答率



毎日同じ時間に寝ることを心がけている児童・生徒は、教科の平均正答率が高い傾向が見られました。

☆詳しくは、指導課へ